

# 令和5年度 0歳児 年間指導計画 南保育園

|   |  |  |  |   |  |
|---|--|--|--|---|--|
| 園<br>長  |  | 副<br>園<br>長  |  | 担<br>任  |  |
| 診・検温は毎日行い、健<br>すために感染症の早期発<br>努める。<br>環境整備を行う。<br>マニュアルの確認<br>然死症候群の予防  |  | 一年間の保<br>育に対する<br>自己評価   |  |   |  |
| 3 期（9 月～12 月）   |  |  |  | 4 期（1 月～3 月）  |  |
| ●気候に応じた戸外遊びや散歩を取り入<br>れ、自然に触れて遊んだり、全身を使って<br>遊んだりしながら体を動かす楽しさを感じ<br>る。<br>●保育者とのかかわりの中で、喃語や一語<br>文を発することを楽しむ。 |  |  |  | ●安定した環境の中で探索行動を通し<br>て、いろいろな人や物にかかわりなが<br>ら、好きな遊びを楽しむ。<br>●保育者や友達と同じことをしたり、<br>真似たりして、一緒にいることを喜ぶ。   |  |
| 12 か月未満   |  | 1 歳～1 歳3 か月未満  |  | 1 歳3 か月～2 歳未満   |  |
| 四つ這いなどで移<br><br>たような声を出<br>さしをしたりする<br>伝えようとする<br>なる。<br>に意欲的になり、<br>食べるようにな<br>(                             |  | ●スプーンで食べようとしたり、<br>コップを持って飲もうとした<br>りする。歯茎や乳歯を使って噛<br>んで食べる。<br>●つたい歩きから一人歩きがで<br>きるようになり、行動範囲や興<br>味の幅が広がる。<br>●リズムのよい簡単な歌や手遊<br>び、保育者とのふれあいや遊び |  | ●一人歩きが安定し、小走りで<br>歩いたり、段差のあるところを<br>歩いたり、跳び下りるなど、上<br>下の運動に挑戦する。<br>●手の細かいコントロールが<br>進み、積み木を積んだり、な<br>ぐり描きが点から曲線を描<br>いたりするようになる。<br>●他の園児への関心を示し、持 |  |

|                          |  |  |  |   |  |
|--------------------------|--|--|--|---|--|
|                          |  | 前後に進むようになる。<br>●あやしたり、話しかけてもらったりして、盛んに喃語を話す。   | ●つかまり立ちや伝い歩きなど歩行への意欲と活動が発達になる。   | を楽しむ。<br>●つまむ・引っ張るなど、手や指を使うようになる。<br>●戸外に行くことを喜び、虫や植物に興味を示す。  | っているものを欲しがったり触ろうとしたりする。<br>●言葉が増え、二語文を話す。<br>●「いやいや」「だめ」などの自己主張が始まり、自我が芽生える。                     |
| 養護<br>(生命の保持・<br>情緒の安定)  |  | ■一人ひとりの離乳食の状況に合わせて、内容を検討したり、家庭とともに進めたりする。<br>■ふれあい遊びを通して、愛着関係を深めていく。                   | ■子どものさまざまな欲求にこたえ、安心して生活を送れるようにする。<br>■一人ひとりの発達に合わせて、スプーンや手づかみで食べることを経験させてあげるようにする。 | ■安心感や満足感の中で保育者や他児とかかわることを楽しめるようにする。<br>■食後は手や口元を拭いたり、口の中に食べ物が残らないよう水分を摂るようにしたりする。                     | ■保育者に受け止めてもらうことで言葉話す楽しさを感じ、気持ちを表現できるようにする。<br>■けがや事故のないようにそばで見守り、自分でやってみたいという気持ちを尊重する。           |
| 教育<br>(三つの視点)            |  | ★保育者と目が合い、あやされると機嫌よく過ごす。<br>★おむつをこまめに交換し、快適に気持ちよく過ごせるようにする。<br>★動く玩具を目で追ったり、手を伸ばしたりする。 | ★園での食事に慣れ、落ち着いて食事をする。<br>★保育者の語りかけに、喃語で反応するなどのやりとりを楽しむ。<br>★天気の良い日は戸外に出て、のびのびと過ごす。 | ★歩行ができるようになり、保育者に見守られながら、安心して探索行動を楽しむ。<br>★少しずつ友達に興味を持ち、関わろうとする。<br>★スプーンやコップなどに興味を持ち、自分なりに使ってみようとする。 | ★指差しや片言で気持ちを表し、伝えようとする。<br>★身体を動かす遊びに興味を持ち、保育者や友達との触れ合い遊びを楽しむ。<br>★こぼしながらもスプーンを使って自分で食べられるようになる。 |
| 教育<br>(健康・人間関係・環境・言葉・表現) |  | ★保育者に抱かれ、安心して語り掛けてもらいながらミルクを飲む。  | ★保育者の受容的な温かい関わりの中で、言葉や身近なものに興味を持ち、指差しで気持ちを伝えたり、やりとりを楽しむ。                           | ★指先を使った細かい動きを楽しむ。<br>★特定の保育士と喃語や言葉のやりとりを楽しむ。  | ★周りの人を意識し、かかわろうとする意欲が出る。<br>★衣服の着脱に意識が向き、自分でしようとする意欲が出る。   |
| 環境構成<br>援助<br>配慮         |  | ■寝返りの妨げとなるようなものを取り除き、自由に身体を動かせるスペースをとる。  | ■興味や発達に合わせて子どもの好奇心や探索行動が満たせるように環境を整える。   | ■のびのびと身体を動かせるように広いスペースをとる。<br>★体調を崩すことがないように、   | ■1人遊びでも他児の遊びが視界に入るように同じ空間で行う。  |

|  |  |                                    |                                    |                          |   |
|--|--|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|---|
|  |  | ★声をかけたり、ふれあったりしてあやすことで子どもの反応を引き出す。 | ★保育者に欲求を訴えていたときに、すぐ対応できるようにそばで見守る。 | 体調面を配慮しながら活動場所、活動時間を決める。 | ★子どもの気持ちを言葉にして返したり、共感したりすることで言葉の発語を促していく。 |
|--|--|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|---|

| 月齢・年齢            | 3か月～6か月未満 | 6か月～9か月未満  | 9か月～12か月未満  | 1歳～1歳3か月未満                                       | 1歳3か月～2歳未満  |
|------------------|-----------|--|---|--|---|
| 子育て支援<br>(保護者支援) |           | ●離乳食の進みを保護者から聞き、園での食事状況をつたえながら、家庭と同じ援助ができるようにするとともに、進められるようにする。                    | ●盛んに動き始めると、家庭でも事故につながる危険な物が多くあることや子どもにとっての安全な環境について保護者に伝える。 | ●自我の芽生えは1つの大切な成長であることを伝え、些細な悩みでも受け止め、相談にのるようにする。 | ●悩みがないか保護者の様子をみる。自分でできた満足感が意欲につながることを伝え、自ら取り組めるようなかわり方を促していく。 |
| 食育               |           | ●「食を営む力」の育成<br>食べることを楽しみ、食事を楽しむあう子どもに成長していくことを目指す。<br>●アレルギーのある子どもには、除去食や代用食で対応する。 | ●衛生面に配慮しながら、手づかみ食べを認め、自分で食べようとする意欲を高める。                     | ●スプーンやフォークの持ち方を丁寧に教え、徐々に使えるようにする。                | ●こぼしながらも、スプーンやフォークを使って食べるように手を添えたり言葉かけを行う。                    |
| 長時間保育            |           | 心身の状態に注意深く配慮しながら家庭と連携していく  |   |  |   |
| 期                | 1期(4月～5月) | 2期(6月～8月)  | 3期(9月～12月)  | 4期(1月～3月)  |   |
| 年齢別研修            |           | テーマ<br>「子どもの人権について」  |   |  |   |
| 自己評価             |           |  |   |  |   |

# 令和5年度 1歳児 年間指導計画

## 南保育園

|                          |   | 園長  |   | 副園長   |  | 担任  |  |
|--------------------------|---|---|---|---|--|---|--|
| 年間目標                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●安心できる保育者との関係を築きながら、保育者に援助され基本的生活習慣の基礎が身に付く。</li> <li>●安全で安心な環境の中で伸び伸びと遊び、いろいろな経験を重ね、感覚の発達を豊かにし、身の回りの物事への興味、関心が持てるようにする。</li> </ul>  | 健康<br>安全<br>災害  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●視診・触診・検温を行い、健康状態を把握する。感染症の早期発見、予防に努める。</li> <li>●防災、防犯訓練に参加する。</li> <li>●室内外の環境整備に参加し、意識向上に取り組む。</li> </ul> | 一年間の保育に対する自己評価  |  |   |  |
| 期                        | 1期（4月～5月）   | 2期（6月～8月）   |   | 3期（9月～12月）  |  | 4期（1月～3月）   |  |
| 子どもの姿                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●担任の保育者などの顔を覚え、親しみをもつ。</li> <li>●新しい環境に戸惑う子もいるが、少しずつ慣れ、安心感を持って生活し、自分の好きな遊びを楽しむ。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活リズムに慣れてきて、一日の保育の流れに沿って生活することができる。</li> <li>●活動範囲が広がり、自然物や身近なもの、遊具に興味をもつ。</li> </ul>   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育者と親しみ関わりながら遊んでいる。</li> <li>●周囲の環境に興味をもち、言葉や体を使って思いを伝えようとする。</li> <li>●曲に合わせて体を動かすことを喜ぶ。</li> </ul>  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●身の回りのことを、自分でしようとする。</li> <li>●友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じ、簡単な言葉のやり取りをしながら過ごす。</li> <li>●遊具を使って楽しむ。</li> </ul>  |  |
| ねらい                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい環境や生活のリズムに慣れ、特定の保育者などとの信頼関係を築き、安心感を持ちながら自分の好きな遊びを楽しむ。</li> <li>●戸外で自由に体を動かすことを楽しむ。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●園での生活を楽しみながら、身近な人と関わる心地よさを感じる。</li> <li>●簡単な言葉をくり返したり、模倣して楽しむ。</li> <li>●水、砂、土の感触を味わい夏の遊びを楽しむ。</li> </ul>   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●身の回りのことに興味をもち、保育者と一緒にやろうとする。</li> <li>●秋の自然物に触れて親しむ。</li> <li>●保育者や友だちと一緒に、季節の音楽やリズムに親しみ、体を動かして楽しむ。</li> </ul>  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●進級に向けて期待や喜びをもって楽しく過ごす。</li> <li>●冬の季節を感じながら健康に過ごす。</li> <li>●気の合う友だちと遊ぶ楽しさを知る。</li> </ul>   |  |
| 養護<br>（生命の保持・情緒の安定）      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■一人一人の状況に応じて関り、生理的欲求が満たされるようにする。</li> <li>■園児の気持ちを受け止めながら触れ合い、安心感を持って過ごせるようにする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■体調管理がしっかり行われる中で、戸外遊びや水遊び等、安全な環境で十分に活動できるようにする。</li> <li>■スキンシップが十分に行われることで、安心して過ごす。</li> </ul>  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■気温の変化に留意し、室内の環境や衣服の調節を通して快適に過ごす。</li> <li>■自分でしたい気持ちを受け止め、援助されながら達成感を味わえるようにする。</li> </ul>  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■見守られながら、身の回りことを自らしようとする。</li> <li>■周囲の人への関心を高め、安心してやり取りを楽しむ。</li> </ul>   |  |
| 教育<br>（健康・人間関係・環境・言葉・表現） | <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育者に援助されながら、食事・睡眠・排泄をしようとする。</li> <li>●保育者に見守られながら、自分の好きな遊びを楽しむ。</li> <li>●身近な自然と触れ合い、興味・関心を持つ。</li> <li>●見たり、指さしをして意欲的に絵本に親しむ。</li> <li>●歌を歌ったり、手遊びをしたりして楽しむ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●オムツ交換時にトイレに座ってみる。</li> <li>●保育者や友達と一緒に遊びを楽しむ。</li> <li>●玩具を使って水遊びを楽しむ。</li> <li>●好きな絵本を繰り返し見たり、簡単な言葉の模倣を楽しむ。</li> <li>●保育者と一緒に手遊びしたり、音楽に合わせて体を動かす。</li> </ul> |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●身の回りのことを自分でやってみようとする。</li> <li>●友達存在を意識し、関わろうとする。</li> <li>●戸外遊びを通して秋の自然を感じる。</li> <li>●保育者や友達に簡単な言葉や指差し等思いを伝えようとする。</li> <li>●音楽に合わせて楽しみながら体を動かす。</li> </ul> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●簡単な身の回りのことができた喜びを感じる。</li> <li>●好きな遊びをじっくり楽しみ、友達と一緒に遊ぶことを喜ぶ。</li> <li>●二語文や多語文が増え、保育者や友だちと一緒に会話を楽しむ。</li> <li>●遊びの中で言葉を使うことを楽しむ。</li> <li>●冬の季節の歌に親しみ、身振りや手振りを交えて楽しむ。</li> </ul>                  |  |
| 環境構成<br>援助<br>配慮         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●安全点検や衛生管理チェックを通して、保育室や園庭の安全を確認し、安心して遊べるようにする。</li> <li>●発達に合った玩具を用意する。</li> <li>●一人一人の発達や生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れていけるようにする。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な活動を通して、友達との関りを一緒に楽しめるように様々な玩具を用意する。</li> <li>●こまめに水分補給や休息をとりながら、快適に過ごせるようにする。</li> <li>●保育者が仲立ちとなり、友達との関わりがスムーズにできるように言葉掛けをする。</li> </ul>                  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●身の回りのことや玩具に興味をもてるよう、室内環境を整える。</li> <li>●やりたい気持ちを受け止め、自分でしようとする姿を見守りながら、達成感を持てるような言葉がけをする。</li> <li>●活動に乗り気でない子どもの気持ちにも寄り添い、別の機会を設けるなどの配慮する。</li> </ul>        |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●友達と見立て遊びができるよう、コーナーを設置したり、十分な玩具を用意する。</li> <li>●感染症予防のため、気温や室温をこまめに調節しながら、快適な環境を整える。</li> <li>●子どもの思いを受け止め、伝えたいことを代弁しながら、関りを深めるよう仲立ちする。</li> <li>●自分でできたときは十分ほめることで、自信や意欲につなげられるようにする。</li> </ul> |  |

| 期                | 1期（4月～5月）   | 2期（6月～8月）   | 3期（9月～12月）   | 4期（1月～3月）  |
|------------------|---|---|--|--|
| 子育て支援<br>（保護者支援） | <ul style="list-style-type: none"> <li>●連絡帳や送迎時の会話で毎日の様子を伝え、不安や疑問が和らぐよう心掛ける。</li> <li>●保護者の不安な気持ちを受け止め、丁寧に開くようにする。</li> <li>●かみつきの引きかき、けがなどには適切に対処し、必ず口頭で説明する。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●衣服の着脱、食事の仕方、排泄など、園と家庭が共通意識を持って進められるようにしていく。</li> <li>●暑くなる時期なので、水分補給、休息、睡眠などの健康管理について知らせていく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●運動会などの行事を通じて、園での子どもの様子を見てもらい、成長の過程を共感し、楽しく子育てができるように援助していく。</li> <li>●感染症情報など分かりやすく伝え、子どもの様子についてしっかり把握していく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの成長を保護者とともに喜び合い、進級に向けて不安がないよう、一年間の様子、進級に向けての話をしていく。</li> </ul>                        |
| 食育               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ゆったりとした雰囲気の中で食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わえるようにする。</li> <li>●食前食後のあいさつをする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとりひとりの体調に合わせた量を調節し、楽しく食べられるような雰囲気作りをする。</li> <li>●いろいろな食材に関心を持つ。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●手づかみ食べを見守りながら、スプーンを使うことを少しずつ促していく。</li> <li>●苦手な食材でも少し食べてみる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分で食べようとする意欲を大切にし、必要に応じて援助を行ったり、こぼさずに食べられるようになる。</li> <li>●必要に応じてフォークを使って食べる。</li> </ul> |
| 長時間保育            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●安全な環境の下で、遅番保育士と安心して触れ合う。</li> <li>●異年齢児交流を図りながら、家庭的なゆったりした時間を過ごす。</li> <li>●あたたかな環境の下、くつろいだ雰囲気の中で、不安や寂しさを受け止めながら遊びに集中できる環境を作る。</li> </ul> |   |  |  |
|                  |   |   |  | →  |
| 年齢別研修            | テーマ・・・すこやかな育ち<br>サブテーマ・・・保育の質の向上<br>内容「子どもを尊重する保育」のために  |   |  |  |
|                  |   |   |  | →  |
| 自己評価             |   |   |  |  |

# 令和5年度 2歳児 年間指導計画

## 南保育園

| 令和5年度 2歳児 年間指導計画        |  |  |  | 南保育園  |  | 園長             |  | 副園長  |  | 担任 |  |
|-------------------------|--|--|--|---|--|----------------|--|--|--|----|--|
| 年間目標                    | ・保育者に見守られながら簡単な身の回りのことを自分で行い、できた喜びを感じる。<br>・友達との関わりの中で、一緒に行動したり同じ遊びを楽しんだりする。<br>・生活の中で身の回りの物や数、形、色が分かり、言葉を使って伝えたり、言葉のやり取りを楽しんだりする。 |  | 健康安全災害   | ○受け入れ時や受け入れ後の十分な視診。<br>○施設内外の環境整備、安全点検を行う。<br>○危機管理マニュアルの確認。<br>○避難訓練により地震や火事などを想定した避難方法を身につける。 |  | 一年間の保育に対する自己評価 |  |  |  |    |  |
| 期                       | 1期（4月～5月）  |  | 2期（6月～8月）  |   | 3期（9月～12月）   |                |  | 4期（1月～3月）  |  |    |  |
| 子どもの姿                   | ・新しい環境に不安な様子があるが、保育者との信頼関係が出来ると安心して生活ができるようになる。<br>・保育者に見守られながら、好きな遊びを見つけ楽しんで遊ぶ。<br>・身の回りのことを自分でしようとするが甘えの要求も強い。                   |  | ・体の動きが安定し、探索し、活発に動き回る。<br>・友達と関わって遊ぼうとするが、自己主張が強くなり、ぶつかり合いが起こることも多くなる。<br>・生活リズムが安定し、保育者に手伝ってもらいながら身の回りのことをしようとする。 |   | ・友達との関わりが楽しくなり、一緒に過ごすことができる。<br>・一人でできることが増え、活動に意欲的に取り組もうとする。<br>・絵本や紙芝居を<br>・語彙数が増し、言葉のやりとりが盛んになる。                          |                |  | ・友だちとの関わりが深まり、一緒に行動し同じ遊びをすることを楽しむ。<br>・基本的生活習慣がほぼ完成する。<br>・生活に必要な言葉がわかり、自分の欲求や意思を言葉で伝えることができる。   |  |    |  |
| ねらい                     | ・新しい環境に慣れ安定感を持って過ごす。<br>・保育者の手助けを通して身の回りのことを自分でしようとする気持ちを育てる。<br>・好きな遊びを見つけ、保育者や友達と一緒に楽しむ。<br>・戸外でからだを動かして遊ぶことを楽しむ。                |  | ・保育者に手伝ってもらいながら、身の回りのことを自分でやってみようとする。<br>・友達と言葉のやりとりをしながら、一緒に遊ぶ楽しさを知る。<br>・夏ならではの遊びを楽しむ。                           |   | ・保育者に手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことを少しずつ自分でする。<br>・保育者を仲立ちにしながら、友達との遊びを広げていく。<br>・基本的生活習慣を身につける。<br>・保育者や友達と一緒に戸外で全身を使った遊びや、自然に触れて遊ぶ。 |                |  | ・自分でしようとする気持ちを受け止めてもらい、簡単な身の回りのことを自分でする。<br>・基本的生活習慣の自立を図る。<br>・友達と一緒に遊ぶ楽しさが分かり、自分の思いを言ったり聞いたりして簡単な言葉のやり取りを楽しむ。<br>・進級に期待をもち、意欲的に生活しようとする。 |  |    |  |
| 養護<br>（生命の保持・<br>情緒の安定） | ・一人ひとり丁寧に関わり、それぞれの思いに寄り添って受け止めることで、信頼関係を築けるようにする。  |  | ・水分や休息を十分に取健康に過ごす。<br>・自分でやりたい思いを大切にし、手助けが必要な時は援助していく。   |   | ・気温の変化に応じた生活を送り、健康で快適に過ごす。<br>・生活の流れが分かり、自分から行動する。   |                |  | ・基本的な生活習慣の自立に向け、一人ひとりの姿に合わせて援助し、自分でできた喜びを感じるよう援助する。  |  |    |  |

|   |  |   |  |  |
|---|--|---|--|--|
| <p><b>教育</b><br/>(健康・人間関係・環境・言葉・表現)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活の流れを知り、身の回りのことを保育者と一緒にやってみようとする。</li> <li>・名前を呼ばれると返事をする。</li> <li>・保育者に誘われてトイレに行ってみる。</li> <li>・戸外遊びを楽しみ、春の自然に触れる。</li> <li>・手遊びや体操、歌を保育者や友達と一緒に楽しむ。</li> <li>・固定遊具の使い方を知り、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・新しい場所での午睡に慣れ、十分に眠る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな遊びを楽しみながら、気の合う友達と一緒に過ごす心地よさを感じる。</li> <li>・保育者に見守られトイレでの排泄に慣れる。オムツからパンツに移行していく。</li> <li>・友達の名前に興味を持ち、名前を呼び合い一緒に遊ぶ。</li> <li>・保育者友達と絵本や紙芝居を楽しみ、言葉の繰り返しや模倣をして遊ぶ。</li> <li>・夏ならではの遊びを通して全身を動かして遊び、解放感を味わう。</li> <li>・様々な素材の感触を楽しんだり、素材を使って作ったりすることを楽しむ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の生活に必要な決まりが分かり、待ったり、譲ったりしようとする。</li> <li>・尿意を感じ、自分からトイレに向かったり、保育者に声を掛けたりする。</li> <li>・友達とおしゃべりを楽しむ。</li> <li>・簡単なルールのある遊びに興味を持ち、友達や保育者と一緒に楽しむ。</li> <li>・保育者に受け止めてもらい、自分の気持ちをいろいろな言葉で伝えようとする。</li> <li>・秋の自然に触れ、草花、虫などの色や形に興味を持つ。</li> <li>・ひも通しや洗濯ばさみなど指先を使った遊びを楽しむ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な遊びを通してルールや決まりがあることを知り、それを守ろうとする。</li> <li>・パンツで過ごし、トイレの使い方がわかり、自分で排泄する。</li> <li>・生活に必要な簡単な言葉を理解し、様々な出来事に関心を示し言葉で表す。</li> <li>・簡単なごっこ遊びをする中で、保育者や友達と言葉のやりとりをする。</li> <li>・身の回りの形や色、数に関心を持つ。</li> <li>・切る、丸める、貼るなどの造形遊びをする。</li> </ul> |
| <p><b>環境構成<br/>援助<br/>配慮</b></p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの気持ちを受け止め、信頼関係を築く。</li> <li>・好きな遊びを楽しめるよう、子どもの興味に応じて、遊具や用具を準備する。</li> <li>・生活習慣は個人差を踏まえて、細やかに対応する。</li> <li>・正しい遊具の使い方を知らせ、安全に遊べるように見守る。</li> <li>・戸外でのびのびと安全に遊べるように保育者間で連携して見守っていく。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切にす。また、必要に応じて援助を行い意欲を高められるようにする。</li> <li>・外気の温度に留意し、適切な室温・湿度を保ち、こまめに水分補給を促す。</li> <li>・戸外遊びは時間帯や場所に留意し、暑さ対策を行う。</li> <li>・水遊びは健康状態に留意し、安全面に配慮する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でしようとする気持ちを大切にし、頑張り認め、励ましたり、誉めたりし、自分でできる喜びや楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・日常的に起こりうる子ども同士のトラブルに丁寧に関わる。</li> <li>・全身を使った遊びができるよう、安全な環境を整える。</li> <li>・探索活動が盛んになるので安全に留意して、十分に活動できるようにする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外気との温度差が大きいため、衣服調節に留意し、手洗いやうがいを励行する。</li> <li>・身の回りのことに意欲的に取り組む姿を褒め、自信を持って進級できるようにする。</li> <li>・友だちとの関わりが深まってくる反面トラブルも多くなるので、保育者は見守りながら子どもの話によく耳を傾ける。</li> </ul>   |

| 期                               | 1期（4月～5月）  | 2期（6月～8月）   | 3期（9月～12月）  | 4期（1月～3月）   |
|---------------------------------|--|---|---|---|
| <p><b>子育て支援</b><br/>(保護者支援)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に安心してもらえるよう送迎時や連絡帳を通して園での様子や家庭での様子を共有していく。</li> <li>・健康記録や送迎時の聞き取りにより子</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園での子どもの生活や健康状態について、家庭と密接な関係が作れるように体制を整えておく。</li> <li>・体調や気候に合わせた調節しやすい衣服</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観や個人懇談に参加してもらうことで、園での生活の様子を知ってもらい、家庭での生活の様子や困っていること等を聞いていく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・三歳児の生活の様子を伝えたり、進級への不安を聞いたりして丁寧に向き合う。</li> <li>・進級することを保護者と共に喜び、今</li> </ul> |

|       |  |  |   |  |
|-------|--|--|---|--|
|       | <p>どもの健康状態を把握し、連携を密にしていく。</p>  | <p>について共有できるように働きかける。</p>  | <p>・保護者の思いを受け止め、気持ちに寄り添う関わりを持っていく。</p>  | <p>後の成長に希望が持てるよう支援する。</p>  |
| 食育    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンなどを使い、楽しく食事をする。</li> <li>・楽しい雰囲気の中で、食べ物に興味を持ち、自分で食べようとする。</li> <li>・食事の前後の挨拶をする。</li> <li>・一人ひとりの食事の状態を把握し、言葉かけたり、援助をする。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンやフォークの正しい持ち方を知らせる。</li> <li>・給食前の準備で、見通しを持ち進んで手を洗ったりタオルで拭いたりする。</li> <li>・食前、食後の挨拶を通して、食べることや完食したことに喜びを感じる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンやフォークを下から握り、自分で食べようとする。</li> <li>・食べ物に関心を持ち、自分から進んで食べようとする。</li> <li>・友だちが食べている姿を励みに、苦手な食べ物にも挑戦しようとする。</li> <li>・器を持って食べようとする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事に必要な基本的な習慣やマナーに関心を持ち、意識する。</li> <li>・完食することを喜び、誉められることで更に食事に対して意欲的になる。</li> <li>・友達と一緒に食べることを楽しむ。</li> </ul> |
| 長時間保育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な環境の下で、担当保育者と安心して触れ合う。</li> </ul>  |  |   | →  |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢児交流を図りながら、家庭的な雰囲気の中で、ゆったりとした時間を過ごす。</li> </ul>  |  |   | →  |
|       | <p>※けんかや怪我に気を付ける。</p>  |  |   | →  |
|       | <p>異年齢児間で、大きい子が小さい子に対して思いやりの気持ちを持ち、また、小さい子が大きい子に憧れの気持ちが持てるような様々な遊びを行い、優しい言葉掛け等に留意していく。</p>   |  |   | →  |
| 年齢別研修 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「すこやかな育ち」</li> <li>・サブ「保育の質の向上」</li> <li>・内容「子供を尊重する保育」のために</li> <li>・設定理由：保育士による不適切な保育がニュースで取り上げられている。私たちも自らの保育を振り返り、不適切な保育を未然に防ぐため</li> </ul> |  |   | →  |
|       | <p>「子どもを尊重する」ことや「子どもの人権擁護」について更に意識を高め、行動していくことが大切である。</p>  |  |   | →  |



|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 自己評価 |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|

R5年度 3歳児 年間指導計画 南保育園

|                          |  |   |   |   |  |  |  |
|--------------------------|--|---|---|---|--|--|--|
|                          |  | 園長  |   | 副園長   |  | 担任   |  |
| 年間目標                     | ◎身の回りのことや生活習慣が身につく。<br>◎感じたことや思いなど、自分の気持ちを言葉で相手に伝えようとする。<br>◎様々な動きを体験しながら、全身を使ってあそぶ楽しさを味わう。<br>◎見たりふれたりする物に興味をもち、おもしろさや美しさを知る。<br>◎保育士や友だちとあそぶことを楽しみながら、かかわりを深める。                        | 健康安全災害  | ・受け入れ時、受け入れが後、十分な指針を行う。<br>・毎日の清掃や、園内外の安全点検を行う。<br>・避難訓練を通し災害時に安全に避難する方法を身につける。 | 一年間の保育に対する自己評価  |  |  |  |
| 期                        | 1期（4月～5月）  | 2期（6月～8月）   |   | 3期（9月～12月）  |  | 4期（1月～3月）  |  |
| 子どもの姿                    | ●新しい生活が始まり、期待感に包まれて登園する子と慣れない環境に不安を抱きながら登園する子がいる。<br>●生活の流れに徐々に慣れ、保育士と一緒に身の回りのことをしている。   | ●園生活の中にいろいろな決まりがあることがわかってくる。<br>●様々なことに好奇心を持つようになり、生活の中で見たりふれたり試したりして楽しんでいる。<br>●物の所有を巡り、友だちとぶつかり合うことが多くなってくる。  |   | ●生活が落ち着いてきて、身の回りのことを自分でしようとする子がいる。<br>●友だちと一緒にあそぶ楽しさをわかり始め、自分の思いや考えを押し通そうとしてトラブルになる。その中で相手の気持ちに気づくようになる。<br>●自分のイメージを言葉や動き、絵などで表現して楽しんでいる。  |  | ●身の回りのことができるようになり、友だちや保育士の手伝いをしたがる。<br>●想像したことや経験したことを自分なりの言葉で伝えたり、造形活動で表したりと表現が豊かになる。<br>●進級することに期待感や不安感を持つ子もいる。  |  |
| ねらい                      | ◎保育士に親しみをもち、安心して過ごす。<br>◎園生活の流れを知り、園の生活リズムや生活習慣に慣れる。<br>◎園の遊具やおもちゃに興味をもち、自分から遊ぼうとする。<br>◎身近な動植物や自然に興味を持つ。  | ◎簡単な身の回りのことを自分でしようとし、健康的な心と体を養う。<br>◎遊びや生活を通して約束や決まりがあることを知り、守ろうとする。<br>◎水や砂を使った遊びや全身を動かす遊びに興味を持つ。<br>◎いろいろな活動や遊びを通して、友だちとかかわる。   |   | ◎生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとし、自立心を培う。<br>◎友だちと生活や遊びを楽しみながら、必要なルールを守ろうとする。<br>◎いろいろな友だちと一緒に、体を動かす楽しさを味わう。<br>◎自分のイメージを表現して楽しむ。   |  | ◎基本的な生活習慣や身の回りのことが身につき、自信を持って過ごす。<br>◎移行期に入り、新担任にも親しみをもち、進級の喜びを感じる。<br>◎集団の中での自分の役割を知り、意欲的に取り組む。<br>◎感じたことを、自分なりに考えて表現しようとする。  |  |
| 養護<br>（生命の保持・情緒の安定）      | ・園内外の危険や安全についての約束事を伝え安全に生活できるようにする。<br>・子どもたちが安心して過ごせるよう、一人一人の気持ちを受け止め優しく丁寧に対応する。  | ・自分の気持ちを素直に出せる、安心の場となるようにする。<br>・水分補給や休憩、衣服の調節をして快適に過ごせるようにする。<br>・水の事故防止に努める。  |   | ・運動量が増えるので、休息を十分にとり、体調を崩したりケガが起きないよう配慮する。<br>・一人一人の頑張りを見逃さず、わずかな成長でも認めていく。  |  | ・手洗いうがいをしっかり行い、換気や加湿、清掃などで、感染予防に努める。<br>・成長を認めることで自信を持って進級できるようにする。  |  |
| 教育<br>（健康・人間関係・環境・言葉・表現） | ・保育者の手助けを受けながら食事、排せつ、着脱、手洗い、うがいなど基本的な生活習慣の仕方を知り自分でしようとする。<br>・保育者や友だちに親しみや、安心感を持って遊ぶ。<br>・身近な動植物を見たり触れたりして、自然に親しみを持つ。<br>・身近な持ち物や玩具の置き場所が分かり、片づけようとする。<br>・知っている歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする。 | ・生活の流れが分かり、食事、排泄、着替えなどを保育者に見守られ、できることは自分でしようとする。<br>・外遊びや、水遊びで解放感を感じながら楽しむ。<br>・生活や、遊びの中にある決まりや約束を知り守ろうとする。<br>・友だちと関わる中で少しずつ友だちの気持ちを知る。<br>・梅雨期や、夏の自然事象に興味を持ったり、夏ならではの遊びを十分に楽しんだりする。<br>・経験したことを、保育者に話したり、「なぜ」「どうして」などの質問をしたりする。 |   | ・生活の仕方が分かり、簡単な身の回りのことを自分でする。<br>・様々な運動用具を使って十分に体を動かして遊ぶ。<br>・生活に必要な決まりを守り、友だちと一緒に遊びを楽しむ。<br>・生活や遊びの中で身の回りの色、数、量、形などに関心を持ち、いろいろな場面で使って楽しもうとする。<br>・身近な大人の行動や、日常経験している事を取り入れ、ごっこ遊びを楽しむ。<br>・絵本や紙芝居、童話等を読み聞かせてもらい、イメージを持って楽しんで見たり聞いたりする。 |  | ・生活の流れに見通しを持つようになり、身のまわりの事を自分でする。<br>・寒さに負けず十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。<br>・自分から手洗い、うがい、鼻をかむなどして清潔に保つようになる。<br>・気の合った友だちとイメージを共有しながら遊ぶ中で、譲り合ったり、我慢したりすることを知る。<br>・冬の自然事象に驚きや関心を持ち、触れて遊ぶ。<br>・物語からイメージを広げ、友だちと色々な表現を楽しむ。 |  |
| 環境構成<br>援助<br>配慮         | ・施設内外の環境を整え、安全で健康な生活ができるようにする。<br>・時間に余裕を持ち、ゆったりとした一日の流れになる様配慮する。<br>・一人ひとりの思いを受け止め、寄り添う   | ・室内外の暑さ対策として、風通し、帽子、水分補給などを整える。<br>・トラブルが起きた時にはお互いの気持ちや言い分をゆつたりと受け止め、相手の立場や思いに気付かせていく<br>・梅雨期や、夏の衛生や環境に配慮し一人ひとりの健康状態を把握し快適に生活できるようにする。  |   | ・一人ひとりの運動能力を把握し、安全に留意しながら意欲的に取り組むことができるようにする。<br>・散歩に出かけた際には、自然、社会事象に対する感覚体験を多く持てるようにする。<br>・行事でゆとりを失わないようにする。  |  | ・子どもの興味や遊びに合わせて、環境を整え、友だちとの遊びが深まるよう構成する。<br>・一人一人の成長発達を把握し、励ましたり認めたりすることで自信へとつなげていき進級への期待や、喜びを持つようにする。   |  |

| 期                | 1期（4月～5月）  | 2期（6月～8月）  | 3期（9月～12月）   | 4期（1月～3月）   |
|------------------|--|--|--|---|
| 子育て支援<br>（保護者支援） | <ul style="list-style-type: none"><li>・保護者の気持ちを理解し、子育ての悩みなどを共感し相互の信頼関係を築いていく。</li><li>・日々の様子を送迎時に伝え、理解しあえるようにする。</li></ul>               | <ul style="list-style-type: none"><li>・保育参加や、個人面談にて園や家庭での子どもの姿について話す機会を持ち、成長や困りなどを共有、共感していく。</li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>・様々な行事や、遊びを通して、子供たちが成長している様子を家庭と共に感じ、一緒に喜び合う。</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>・自立心が強くなりできることも増えてくるが、まだ甘えたい気持ちもある事を理解して温かく受け止めあう</li></ul>   |
| 食育               | <ul style="list-style-type: none"><li>・保育士や友だちと一緒に楽しく食べる。</li><li>・季節の食材を見て、かいで、食べて興味を持つ。</li></ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"><li>・食事のマナーを覚える。 →</li><li>・いろいろな食材や、料理の名前を知る。 →</li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>・午前中、動の遊びで過ごしたような時には、静の遊びができるよう、環境設定する。</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>・食生活に必要な基本的生活習慣や、態度を身につける。</li><li>・簡単な給食当番を行う。</li></ul>   |
| 長時間保育            | <ul style="list-style-type: none"><li>・ゆったりとした気持ちで遊べるよう、環境設定していく。</li><li>・一人ひとりの子どもたちとの会話を心掛けたり、遊んだりして、担当保育者が心のよりどころとなるようにする。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ゆったりした気持ちで遊べるよう、パズル、ぬり絵など静の遊びも用意する。</li><li>・暑い日が続くので戸外で健康面、安全面に注意する。</li><li>・室内の温度や、湿度をエアコンで調節したり水分補給を促したりして快適に過ごせるようにする。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・午前中、動の遊びで過ごしたような時には、静の遊びができるよう、環境設定する。 →</li><li>・友だちとの関わりが増える為、その日の状況などを担当の職員と、よく連携する。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・自分から進んで片付けができるよう援助する。</li><li>・異年齢児と関わって遊べるような物も用意し、楽しく過ごせるようにする。</li><li>・風邪や、インフルエンザも流行する時期なので、一人ひとりの体調を把握し、担当職員と連携する。</li></ul> |
| 年齢別研修            | ◎テーマ『すこやかな育ち』<br>●サブテーマ「保育の質の向上」<br>○内容「子どもを尊重する保育のために」  |  |  |   |
| 自己評価             |  |  |  |   |

# 令和5年度 4歳児 年間指導計画 南保育園

|                          |   | 園長  |   | 副園長   |  | 担任   |  |
|--------------------------|---|---|---|---|--|--|--|
| 年間目標                     | ○自分でできることの範囲を広げながら、生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身に付ける。<br>○友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。<br>○様々なものに関わり、発見や工夫を楽しむ。   | 健康安全災害  | ○生活に必要な決まりがわかり、基本的な生活習慣や態度を身に付ける。<br>○毎月の避難訓練や交通訓練を通して、災害等についての対応を知り、生きる力の基礎を身に付ける。 | 一年間の保育に対する自己評価  |  |  |  |
| 期                        | 1期（4月～5月）   | 2期（6月～8月）   |   | 3期（9月～12月）  |  | 4期（1月～3月）  |  |
| 子どもの姿                    | ○新しいクラスになり、進級を喜ぶ。<br>○特定の友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。<br>○新しい環境に不安を感じたり、トラブルが起きたりした際、保育者に頼る。   | ○園生活に慣れ、見通しを持って身の回りのことを自分でしようとする。<br>○身近な自然にふれて、季節感のある遊びを十分に楽しむ。  |   | ○友達と協力したり、助け合うことを経験し、仲間意識を持つ。<br>○全身運動が活発になり、いろいろな運動をすることを喜ぶ。   |  | ○生活も遊びも決まりを守る大切さを理解し、守ることができる。<br>○自分の主張をするだけでなく、相手の意見も受け入れようとする。  |  |
| ねらい                      | ○新しい環境に馴染み、保育者や友達に親しみをもち、心身共に健康的に過ごす。<br>○保育者や友達と一緒に遊び楽しさを味わう。<br>○生活の決まりが分かり自分のことは自分でしようとする。   | ○梅雨の時期の過ごし方、夏の健康面、衛生面に気を付けて、快適に生活できるようにする。<br>○季節感のある遊びを十分に楽しむ。<br>○友だちと関わりながら遊ぶ楽しさを味わう。  |   | ○行事などを通して、友達と共通の目的に向かい、協力して、達成感や満足感を味わう。<br>○友達と協調して生活することを楽しむ。<br>○身近な自然に触れたり、興味を持って関わる中で遊びに取り入れることを楽しむ。   |  | ○基本的な生活習慣や態度を身に付け、進級することに意欲を持つ。<br>○自分の主張をしつつも、相手の意見を受け入れ、認めようとする。   |  |
| 養護<br>（生命の保持・情緒の安定）      | ○生活リズムを整え、健康的な生活を送るために必要な生活習慣を身に付ける。<br>○不安に寄り添い、信頼関係を築くことで安心して過ごせるようにする。   | ○夏の時期の過ごし方を知り、健康で安全に過ごせるようにする。<br>○熱中症など体調を崩しやすい時期なので、水分補給や休息を取って健康的に過ごす。<br>○一人ひとりの気持ちを受け止め、意欲的に活動できるようにする。  |   | ○自分の姿を保育者に認めてもらい、達成感や満足感を味わいながら、自信が持てるようにする。<br>○気温や活動内容に応じた環境を整え、快適に過ごせるようにする。   |  | ○正しい生活習慣を知り、自分で気を付けようとする。<br>○年長組になることの期待や不安を保育者に受け止めてもらい、安心して進級する。  |  |
| 教育<br>（健康・人間関係・環境・言葉・表現） | ○食事や排泄、着脱などの基本的な生活の仕方を知り、自分でしようとする。<br>○保育者や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。<br>○栽培を通して、植物の生長に関心を持つ。<br>○自分の思いを保育者や友達に言葉で伝えようとする。<br>○固定遊具や用具の扱い方を知り、安全に使って遊ぶ。<br>○保育者の話を聞こうとする。<br>○音楽やリズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 | ○着脱や身の回りの始末の手順が分かり、自分のことは自分でする。<br>○友達といることの喜びや楽しさを感じながら、つながりを深める。<br>○経験したことや感じたことなどの話をしたり、保育者や友達の話に聞こうとする。<br>○異年齢児に関心を持ち関わることを楽しむ。<br>○生活の中で、様々な音、形、色、触感、動き、においなどに気付いたり、感じたりする。<br>○身近な素材に親しみ、描いたり作ったりすることを楽しむ。<br>○絵本や童話に親しみ、興味を持って聞き、想像することでお話の世界を楽しむ。 |   | ○気温に合わせて衣服を調節したり、手洗い・うがいをする習慣を身に付ける。<br>○友達との関わりの中で、友達の思いを受け入れ、決まりの大切さに気付き、守ろうとする。<br>○共同の遊具や用具を大切に扱い、みんなで譲り合って使ったり、片付けたりする。<br>○歌や簡単な合奏を楽しむ。<br>○絵本や紙芝居の読み聞かせを通して、イメージを広げ、遊びに取り入れるなど表現して楽しむ。<br>○保育者や友達に認められることで、行事に意欲的に取り組むようとする。 |  | ○自分の健康に関心を持ち、うがい・手洗いを進んで行う。<br>○戸外でのルールのある遊びに喜んで参加し、友達と体を動かすことを楽しむ。<br>○冬の自然事象に興味や関心を持ち、春の訪れに気付き感動したり、疑問を持ったりする。<br>○保育者や友達の言葉を聞き、理解したり、思いに気付いたりする。<br>○基本的な生活に仕方がわかり、見通しを持って生活する。<br>○友達と自分のイメージや考えを伝えあったりしながら遊びを発展させていく。 |  |
| 環境構成<br>援助<br>配慮         | ○園が安心できて、楽しい場所であると感じられるよう家庭との連携をもとに、一人一人が落ち着ける場を確保する。<br>○人の話を聞くこと、また、言葉で伝えることの大切さを知らせていく。<br>○一人ひとりの生活の仕方を見守り、基本的な生活習慣を身に付けていく。<br>○子供の姿を見守りながら、順番を守ることやルールを守りながら遊ぶ楽しさを感じられるようにする。         | ○植物の栽培から、生長過程に興味を持てるよう保育室に図鑑を置き、調べられるようにする。<br>○夏ならではの遊びを楽しめるよう安全管理を十分に行う。<br>○汗をかいたら拭いたり、水分補給と休息の大切さを知らせていく。<br>○保育者の援助のもとに異年齢児交流を体験し、年長への憧れや年下の子の手助け・思いやりを持てるようにしていく。   |   | ○衣服の調節や手洗い・うがいの大切さを知らせ、習慣として身につくようにしていく。<br>○様々なことに挑戦する姿を認め、自信を持てるようにしていく。<br>○みんなで友達を応援したり、達成できたことを喜び合ったりする時間を大切にし、仲間意識が持てるようにする。  |  | ○進級することを楽しみ、子どもたちがお互いに認め合えるようにする。<br>○生活の様々な場面の中で、良し悪しを判断しながら適切な行動が取れるよう、認めたり、知らせたりする。<br>○一人一人の表現を受け止め、そのおもしろさや発想の豊かさに共感し、表現することの楽しさを味わえるようにする。   |  |

| 期                | 1期（4月～5月）   | 2期（6月～8月）   | 3期（9月～12月）  | 4期（1月～3月）   |
|------------------|---|---|---|---|
| 子育て支援<br>（保護者支援） | <p>○進級してからの一人一人の気持ちを受け止め、家庭との連携を密にしながら、信頼関係を築いていく。</p> <p>○保護者が不安に感じないよう、子どもの様子を十分に伝えたり、保護者の相談に乗るようにする。</p> <p>○感染症が流行していたり、体調が優れない時には保護者に早めに伝える。</p> | <p>○個人懇談や送迎時などに子どもの成長を知らせ信頼関係を築いていく。</p> <p>○子供同士の思いの違いからトラブルにつながることは成長発達に必要な過程であることを知らせ、理解・協力を求めていく。</p> | <p>○子どもたちの生活の仕方や活動について、共通認識を持てるように情報を共有し連携していく。</p> | <p>○進級に向け、子どもの成長や喜びの気持ちを大切にし、保護者とともに期待を支えていけるようにする。</p> <p>○進級に向けて、保護者が不安を感じていたら、相談にのり、不安を和らげられるよう対応していく。</p> |
| 食育               | <p>○楽しい雰囲気の中で食事をし、マナーを身に付けていく。</p>  | <p>○食べ物と体の関係について興味を持ち、苦手な物も少しずつ食べてみようとする。</p> <p>○正しい箸の持ち方や食器に手を添えるなど食事のマナーを確認する。</p>                     |   | →   |
| 長時間保育            | <p>○身心の状態に注意深く配慮をしながら家庭と連携していく。</p>   |   |   | →   |
| 年齢別研修            | <p>・テーマ<br/>「子どもの人権について」</p>  |   |   |   |
| 自己評価             |   |   |   |   |

# 令和5年度 5歳児 年間指導計画

## 南保育園

|                          |   | 園長   |  | 副園長  |   | 担任   |  |
|--------------------------|---|--|--|--|---|--|--|
| 年間目標                     | ○クラスの友達との関わりを通して、社会生活における必要な態度を身に付ける。<br>○みんなで協力したり、役割を分担しながら目的を成し遂げる喜びを味わう。                                |  |  | 幼児期の終わりにまでに育てほしい姿 10 項目  | ア)健康な心と体 イ)自立心 ウ)協同性 エ)道徳性・規範意識芽生え オ)社会生活との関わり カ)思考力の芽生え キ)自然との関わり・生命尊重 ク)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ)言葉による伝え合い コ)豊かな感性と表現 |  |  |
| 小学校との連携（小学校教育との接続）       | ○小学校周辺の散歩を通し、小学校に興味関心を持ち、期待をする。要録を記入し、担任間の打ち合わせを行う。   | 健康安全災害   | ○健康な体づくりに関心を持ち、病気や事故防止に努める。<br>○交通ルールを理解し、実施しようとする。<br>○緊急時、落ち着いて行動する。 |  | 一年間の保育に対する自己評価  |  |  |
| 期                        | 1 期（4 月～5 月）  | 2 期（6 月～8 月）   |  | 3 期（9 月～12 月）  |   | 4 期（1 月～3 月）   |  |
| 子どもの姿                    | ・年長になったことを喜びや期待もありながらも、緊張感や不安感を持つ子どももいる。<br>・年下の子の世話をしたり、一緒に遊んで楽しむ姿が見られる。                                   | ・気の合う友達と活動したり遊んだりするが、考えや思いの違いからトラブルが起こることもある。<br>・身の周りの事象に興味を持ち、友達と一緒に考える姿がある。               |  | ・仲間意識を深め、友達や保育者と親しみをもちながら過ごす。<br>・同じ目的に向かい取り組み、一つのことを成し遂げる達成感、充実感を味わう。                                 |   | ・相手の気持ちも考え、一人ひとりが自覚と自信を持ち充実感を味わいながら行動できるようになる。<br>・決まりを守り、見通しを持って過ごす。  |  |
| ねらい                      | ○新しい環境に慣れ、保育者や友達と遊びや生活する楽しさを味わう。<br>○友達や保育者と一緒に様々な活動に取り組む。<br>○身近な自然に関わり、美しさや季節の変化に興味を持つ。                   | ○友達とのつながりを深め、お互いの思いを伝え合いながら遊びの幅を広げていく。<br>○梅雨や夏の生活の仕方がわかり、健康に過ごす。<br>○友達と目的を持って試したり、考えたりする。  |  | ○遊びや生活の中で、友達と共通の目的を持ち、工夫しながら活動に取り組むことを楽しむ。<br>○身の回りの自然、社会現象に関心を持ち見通しを持って行動する。<br>○様々な活動を通して、表現力を豊かにする。 |   | ○互いの良さを認め合いながら集団生活のきまりを守り見通しを持って生活する。<br>○様々な経験や人との関わりを通して自立心を高め、就学への意欲を持つ。                                    |  |
| 養護<br>（生命の保持・<br>情緒の安定）  | ・一人ひとりの気持ちを受け止め、信頼関係を築き安心して過ごせるようにする。<br>・基本的な生活リズムを整え健康な生活を送るために必要な習慣を身に付けていけるようにする。                       | ・清潔で安全な環境を整え適度な運動と休憩のバランスの取れた生活が送れるようにする。<br>・子ども一人ひとりの体調管理をし、子どもたち自身が体調の変化に気付けるようにしていく。     |  | ・友達の良さや自分の良さに気付きお互いに認め合えるよう援助していく。<br>・目標に向かい、最後までやり遂げる気持ちを育てるように認めたり誉めたりしていく。                         |   | ・卒園までの時間を大切に、園生活を振り返る中で友達と過ごす心地良さや充実感を味わう。<br>・一人一人が園生活を通じて培われた力や自信、誇りを持って就学を迎えられるようにする。                       |  |
| 教育<br>（健康・人間関係・環境・言葉・表現） | ・年長児として生活に必要な言葉や表現の仕方に関心を持ち、新たな習慣を身に付ける。<br>・保育士や友達との関わりを楽しみ戸外で伸び伸びと遊ぶ。<br>・園生活でのきまりを確認し進んで守る。また、安全に気を付けて道具 | ・遊びの中で自分の思いを伝え、相手の気持ちや考えを知ろうとする。<br>・自分なりに目標を持って挑戦してみる。<br>・いろいろな運動に興味を広げ十分に体を動かし、ルールを守って遊ぶ。 |  | ・友達との関わりの中で、相手の気持ちに気付き、受け止め、言葉を通して心を通わせるようになる。<br>・活動意欲の高まりと共に生じる競争心や達成感を認め、自信が持てるようになる。               |   | ・園生活に見通しを持ち時間を意識して行動する。<br>・園生活を通して、自分で考えながら場面に応じた行動ができる。<br>・日常生活を通して、必要な文字、数、標識などに興味を持つ。<br>・様々な人との触れ合いを通し、自 |  |

|                  |  |  |  |  |
|------------------|--|--|--|--|
|                  | や遊具を正しく使う。<br>・グループで活動する中で遊びを工夫し、計画を立てたり友達とのつながりを深める。  | ・自ら気付いて汗の始末や衣服の調節を行う。<br>・暑さに負けずに食事を取り、体力づくりをし、夏の遊びを楽しんでいく。  | ・言葉や文字、記号などに関心を持ち、自分の思いを伝える手段として取り入れていく。   | 分が成長したことに気づき、感謝の気持ちを持つ。  |
| 環境構成<br>援助<br>配慮 | ・子どもたちと共に生活の場を作ること大切に、安心、安全に過ごせる環境を整える。<br>・のびのびと安定した気持ちで生活ができるよう一日のメリハリや活動の流れに沿ってゆとりのある時間構成をしていく。<br>・何かに挑戦したいと思っている気持ちや、役に立ちたいという気持ちを認めながら、年下の子どもたちと関わる機会をつくっていく。<br>・健康に過ごせるよう室内の換気・室内の温度調節や子ども同士の間隔に配慮する。▼ | ・友達との話し合いでは、見守り、必要な時は保育者が仲介する。<br>・挑戦する姿を認め、やる気や自信につなげていく。<br>・気温や湿度が高いので室温や通気に配慮し水分補給に十分配慮する。<br>・水遊びでは水に親しみを持たせながらも、その危険性についても伝えていく。<br>・気の合う友達と一緒に活動を楽しめるよう場の構成や時間に配慮しゆとりを持つ。 | ・一人一人の多様な取り組み方を受け止め、知的好奇心や探求心が満足できるように様々な素材を用意する。<br>・自分の体に興味を持ち、自ら健康に過ごそうとする意識を持てるようにしていく。<br>・友達の良さや自分の良さに気づき、互いに認め合えるように援助する。 | ・生活の見通しが見つからない子には、個別で次に行う流れを伝える。<br>・友達とのトラブルではなるべく自分たちで解決できるよう見守る。<br>・就学を迎える保護者の不安が少なくなるよう小学校と連携し必要な情報を保護者に知らせていく。<br>・一人一人の良い所や頑張りを認め、自信を持って進学できるようにしていく。 |

| 期                | 1 期（4 月～5 月）   | 2 期（6 月～8 月）   | 3 期（9 月～12 月）                                   | 4 期（1 月～3 月）   |
|------------------|--|--|---|--|
| 子育て支援<br>（保護者支援） | ・家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら保護者とのつながりを育んでいく。<br>個人懇談の実施（5 月～6 月） ▼          | ・個々の成長や頑張りを保護者に伝えていく。  | ・運動会への取り組みを保護者に伝え、子どもの成長する姿を共に喜ぶ。               | ・就学に向けて保護者の不安が少なくなるよう、小学校と連携し交流の様子などを保護者に知らせていく。                 |
| 食育               | ・当番活動に進んで参加する。<br>・食事のマナーを守ることを通して基本的な生活を身に付ける。<br>・苦手なものを少しだけでも食べてみようとする。 | ・食事の時間を意識し、時間内に食べ終われるようにする。<br>・身近な野菜について調べたり、野菜の苗を植える。<br>・当番で野菜に水やりしたり、野菜の収穫をする。 | ・自分たちの体の成長が食べ物と関係していることを知る。<br>・食べ物のグループと働きを知る。 | ・これまでの給食を振り返り、思い出しながらみんなで食べることを楽しむ。<br>・食材を育てた人や調理した人に感謝の気持ちを持つ。 |
| 長時間保育            | ・心身の状態に注意深く配慮しながら家庭と連携していく。 ◀  |  |   |  |

|       |   |  |  |  |
|-------|---|--|--|--|
| 年齢別研修 | ○テーマ「すこやかな育ち」<br>○サブテーマ「保育の質と向上」<br>○内容「子どもを尊重する保育」<br>のために |  |  |  |
| 自己評価  |   |  |  |  |